

令和 6 年度：第 1 2 回 西蒲区自治協議会 総務部会 会議概要

◆会議概要

- 名称：西蒲区自治協議会 令和 6 年度 第 1 2 回総務部会
- 日時：令和 7 年 2 月 2 7 日（木）午後 2 時 5 0 分～午後 3 時 5 0 分
- 場所：巻地区公民館 2 階 実習室
- 出席委員：渡辺（美）委員、小林（正）委員、遠藤委員、柳原委員、吉田委員、青柳委員、
田中（久）委員、渡辺（忠）委員 以上 8 名
（欠席：若杉委員、古島委員）
- 事務局：地域総務課課長補佐、同課副主査
- 傍聴者：0 名

◆会議内容

減災に関する事業について

- ・アンケートの集計結果と当日の感想を共有し、事業評価について協議を行いました。
- ・事業評価については、主に成果と課題について協議を行い、以下のとおりとしました。

【成果】

- ・避難所の運営は地域の人たちで協力してやらなければならないことを伝えられた。
- ・実際に照明を落とすことで、各自備えているライトがどの程度の役割を果たすのか、検証してもらうことができた。
- ・初めて顔を合わせる人同士で話し合うのは少々ハードルが高かったが、普段から地域の人とかかわることの大切さを伝えることができた。
- ・アンケートの結果から、講演会および避難所体験について「良かった」と答える人が 7 割を超えており、比較的満足度の高い事業であった。

【課題】

- ・今回体験していただいた内容を、自治会・町内会等で活かしていただくはたらきかけが必要。

第 1 0 期への引継書の作成について

- ・第 1 0 期への引継書の案について意見交換を行いました。
- ・案のとおりとし、「総務部会が所管する分野における課題について」を協議事項とし、3 月の本会議で諮ることとしました。

その他

なし

第9期西蒲区自治協議会から第10期への引継書（総務部会）

1. 提案事業の概要について

令和5年度「防災演劇および講演会」	令和6年度「にしかんライフフェス田」 「リアル避難所体験」
防災意識向上を目的に、西蒲区にある活断層に関する講演会と、災害発生から避難所生活に至るまでを描いた防災演劇を実施。	「にしかんライフフェス田」 ・災害発生時、ライフラインが途絶えた際に生活する防災やホッケーの体験、緊急時に出動する車の展示を実施。
	「リアル避難所体験」 ・海外と日本での避難所生活の違いに関する講演会や、シェイクアウト訓練、ブラックアウト訓練、避難者カードの記入や提出などの体験を実施。

2. 提案事業の実施による効果について

令和5年度「防災演劇および講演会」	令和6年度「にしかんライフフェス田」 「リアル避難所体験」
<ul style="list-style-type: none"> 西蒲区に特化した内容での講演会は、西蒲区においても大きな災害が他人事ではないことを学んでいただけた。 防災演劇は、備えておくべき防災グッズや、災害発生時や避難した後の対応などが盛り込まれており、演劇という性質上よりリアルに伝えることができた。 	「にしかんライフフェス田」 ・体験を通して、伝えたい世代（主にファミリー層）に防災について伝えることができた。 ・未就学児にもホッケーの体験機会を与えることができ、「ホッケータウン西蒲区」を身近に感じてもらえた。
	「リアル避難所体験」 ・避難所運営のあり方について、自主防災組織等が中心となり、地域住民同士で助け合って運営しなければならないことを伝えることができた。 ・実際に参加者同士で話し合いをさせることで、日頃から地域の人と顔を合わせておくことの大切さを伝えることができた。 ・非常用持ち出し袋を持って来てもらうことで、自分で用意しているものが災害発生時に活かせるかどうか、イメージすることができた。

3. どのような課題が残っているのか

- 子どもたちに対し体験をとおして防災を伝えたが、「楽しい」で終わるだけでなく学びにつなげる必要がある。
- 「教育」「公共交通」などの分野においても、事業を実施（協議）するべき。
- ある程度テーマや範囲を絞って事業を実施するべき。
- そもそも何のために事業を実施しているのか、来場者に伝わらなかった。
- 事業全体を通して、小・中・高校生の参加が少なかった。

4. 実施してきた取組を次のステージに進めるためにはどのような取組が必要なのか

- 学んだことを地域や家庭に持ち帰り、広めてもらうための取組が必要である。
- 今期は防災（減災）を中心とした事業を実施した。今後は地域の防災訓練に活かしてもらう取組が必要である。
- 防災（減災）は継続して伝えていかなければならない。スポーツや教育的な事業と掛け合わせて、より親しみやすいやり方で伝えていく必要がある。
- より多世代に学びを広めるため、今期参加が少なかった学生を対象としたアンケート調査などを実施しても良いのでは。
- こども食堂での講話などで、学生へアプローチしても良いのでは。

総務部会提案に基づく協議事項

各常任部会にて、全体会で協議したいテーマについて検討していただきました。
結論を出すことを目的にしていませんので、積極的にご発言いただければ幸いです。

表題・テーマ	総務部会が所管する分野における課題について
内容	<p>第9期の総務部会では、防災演劇や避難所体験など、防災（減災）を中心に事業を実施した。</p> <p>防災（減災）は、災害発生時などに命を守るために必要な学びであり、継続して伝えていかなければならないものと考えているが、総務部会が所管する分野は【防犯・公共交通・文化・スポーツ・教育】など、多岐にわたる。</p> <p>については、以下のとおり意見を聴取したい。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"><p>① 防災（減災）をより多くの世代に伝えるために、どのような取り組みを実施すべきか</p><p>② 皆さんが日頃生活する中で、総務部会が所管する分野（<u>防災以外</u>）において、課題に感じていることはあるか</p></div>